
3 年研究授業計画

東二番丁小学校 3 学年担任 武田 直樹

1 研究教科 社会科

2 共同研究における目指す子供像

- (1) 理由を明確にして自分なりの思いや考えを持つ。
- (2) 相手の反応を見ながら、自分なりの思いや考えを表現する。
- (3) 共通点・相違点を考えながら伝え合い、自分の考えを生かす。

3 社会科で目指す児童像

社会的事象について意欲的に調べ、調べたことや考えたことを相手にも分かるように表現する活動を通して、互いに考えを広げたり深めたりすることができる。

4 児童の実態

活発な男子が多く、女子は真面目でしっかりしている児童が多い。学校のまわりを調べるとをとても楽しみにしているなど、社会科への期待感は大い。発表が得意ではない子は2名と比較的少ない。しかし、相手の話を最後までしっかりと聞いたり、関心をもって聞いたりすることができる児童は多くない。社会科の授業の中で、社会的事象を多角的にとらえさせ、相手の考えと自分の考えの違いに気付く場面を設けることで、話す意欲と共に聞く意欲も育てていきたい。

5 『小学校学習指導要領』における言語活動の位置づけ

本研究は『小学校指導要領』社会科の第3学年目標(3)「地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。」に基づいて行う。

6 授業研究計画

- (1) 一人一人が社会的な事象について意欲的に調べ、自分なりの考えをもつことができる授業。
- (2) 調べたことや考えたことを相手に分かるように表現し、ペアやグループ全体など様々な形態で交流することで、物事の見方を広げることができる授業。

7 授業技術課題

- ・ 児童が興味関心をもつことができるような資料や教材を準備し、効果的に提示したり、活用したりする。
- ・ 一人一人が自分の考えをもつことができるようにするための手立てを工夫する。
- ・ 児童が自分の考えを伝え合い、互いの考えから学び合うことができるように活動や発表の形態を工夫をする。